令和６年度

学校評価報告書

綾瀬市立天台小学校

凡　　□そう思う
　　▨ややそう思う
例　　▩あまり思わない
　　▧そう思わない
　　▩わからない

〔実施日／調査対象〕　令和6年12月6日／ 児童　413人

令和6年12月6日／保護者　315人

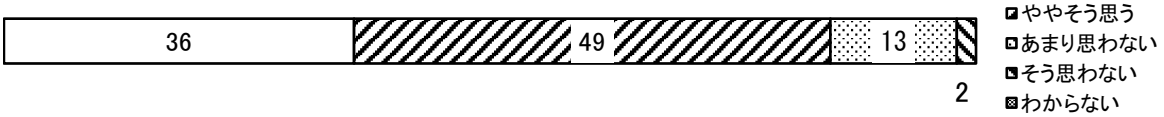
令和6年12月9日／教職員　29人

1 学校は、「よく考え、進んで取り組む子 」を育てるために、工夫や改善に取り組んでいる。

学校の取組

本校では、「学びを楽しむ子をめざして」という研究主題を掲げ、校内研究を中心に日々の授業改善に取り組んできました。伝え合う力を高めることで児童が授業の中で意見を交流し、自分自身で課題を解決する楽しさを味わうことができるようになり、それこそがよく考え進んで取り組む子の具体的な姿であると考えています。

児童　設問　「進んで学習に取り組んだ。」



保護者　設問　「子どもは意欲的に学習に取り組んでいる。」

教職員　設問　「『よく考え進んで取り組む子』を育てるために工夫や改善に取り組んでいる。」

今後に向けて

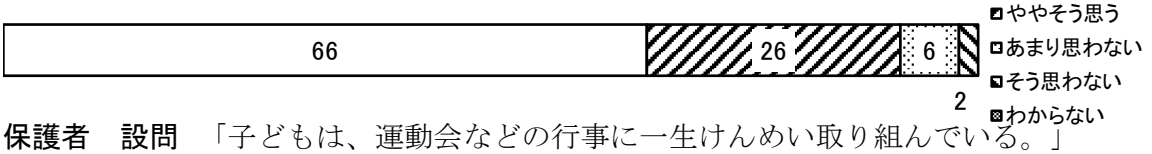
学習意欲については、児童からは肯定的な評価が高い傾向にあり、意欲を持って授業に取り組んでいると言えます。これは考えを伝え合う活動を通して、思考力や表現力を培ってきた継続的な授業改善の成果であると考えます。一方で保護者からの評価も、児童と同様の傾向がみられます。知的欲求を持って相手の考えを聞き、それを受け止めた上で主体的に考えられる力を育み、どのような課題にも主体的・対話的で深い学びが実現できるよう取り組ん

２「児童は、運動会等の学校行事や委員会、学級の係活動に積極的に参加している。」

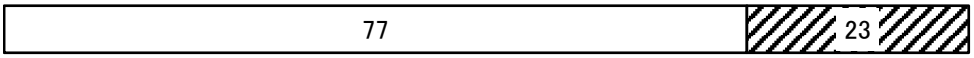
学校の取組

本校では、学校行事においては児童が一人ひとりめあてを持つことで主体的に取り組むことができると考え指導に当たっています。そのために、活動のねらいを明確にすることを大切にしています。係活動や委員会活動においては、地道な取組からでも達成感が得られるように支援しています。令和２年度からキャリアパスポートを作成し、めあてのふり返りをするとともに、毎年自分の成長を感じられるようにしています。

児童　設問　「係の仕事や運動会などの活動に一生けんめい取り組んだ。」



保護者　設問　「子どもは、運動会などの行事に一生けんめい取り組んでいる。」



今後に向けて

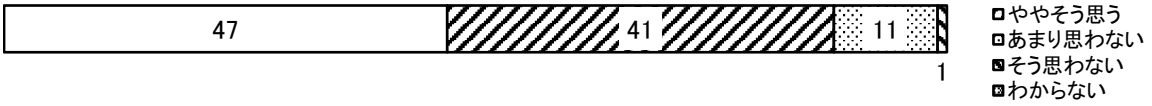
学校行事に意欲的に取り組んでいる様子がわかります。今後も児童が集団生活の中で自らの責任を自覚し、自らめあてを持って取り組めるようにすることで、達成感が味わえるよう学校行事を工夫していきます。また、毎日の掃除や給食などの当番活動も集団生活の中で大切であり、役割を果たすことを指導していきます。どのような場面でもめあてを持たせ、それに対してのふり返りを行い、自己を見つめ直すことで次のめあてにつなげられるような取組を行っていきます。

３ 学校は、「助け合う子」を育てる指導を積極的に行っている。

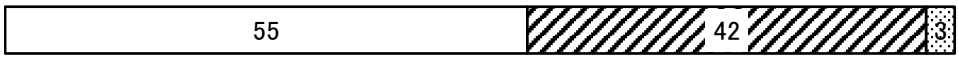
学校の取組

本校では「助け合う子」を育てるために異学年交流に取り組んでいます。道徳教育において、思いやりのある子の育成を重点目標とし、道徳の授業を要として全教育活動で意識をもって取り組んでいます。

児童　設問　「友だちと助け合って仲良く生活できた。」



保護者　設問　「子どもは、友だちと仲良く生活している。」



教職員　設問　「『助け合う子』を育てる指導を積極的に行っている。」

今後に向けて

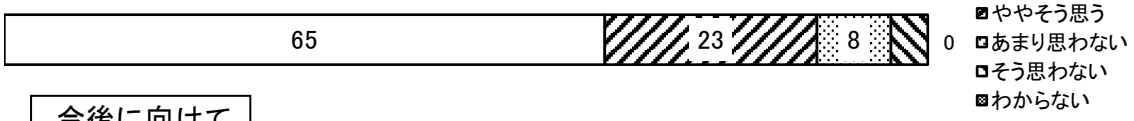
概ね肯定的な評価になっています。各学級での指導とともに異学年との関わりを促す指導をしてきた結果、清掃活動や児童会活動などを通して互いに関わりをもつ様子が見られるようになりました。今年度も児童会の中の体育委員会や集会委員会が休み時間に運動や遊びのイベントを自発的に開催し、学校生活に活気を与えています。

４ 児童は友人や先生との学校生活に満足している。

学校の取組

本校では、児童に関する情報交換を密にし、児童理解に努め、教職員全体で共通理解に基づいた指導に当たっています。そして、毎月スクールアンケートを実施し、いじめの早期発見と再発防止に努めています。令和６年度からはサポートルームアシスタント（ＳＲＡ）が、教室で過ごすことに困難を感じている児童に対応しています。学校が児童にとって居心地がよく、安心して自分の思いを表現できる場であることを前提として、充足感に満ちた活動ができるよう

児童　設問　「学校は楽しかった。」



今後に向けて

児童の９割弱が概ね満足していると回答している一方で、約１割の児童が悩みや不安を抱えているという現実があります。今後も支援体制の更なる充実を図りながら、児童を取り巻く人間関係を注視するとともに、一人ひとりの児童の思いが汲み取れるように見守っていきます。そして全ての児童にとって心から「楽しい」と思えるような学校を目指していきます。

５ 学校は、いじめの早期発見・再発防止のための取組を行っている。

学校の取組

本校では、毎月スクールアンケートを実施し、気になる記述が見られた時には担任が面談をし、児童の声をしっかりと聞いて気持ちを受け止めています。必要に応じて周囲からも聞き取りや情報収集を行って、実態把握に努めています。その結果をもとにケース会議を開くこともあります。毎月児童指導部では会議を開いて、複数の目で一人ひとりの児童について話し合いをしています。また道徳や学校生活全般の中で思いやりの心を育てる指導に努めています。

保護者　設問　「学校は、いじめの早期発見・再発防止のための取組を行っている。」

教職員　設問　「いじめを早期発見し、再発を防止するための取組を行っている。」

今後に向けて

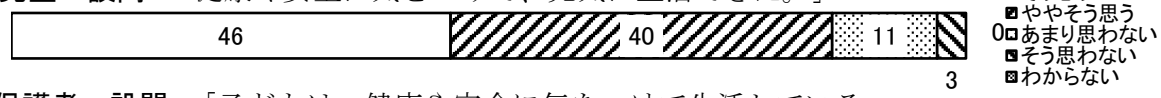
保護者からは「わからない」という回答が１割以上あります。また、取り組みが不十分と感じている保護者の割合も１割以上です。本校では学校便りなどを中心に、引き続きいじめは絶対に許さないという強い姿勢を伝えていきます。今後もスクールアンケートの実施やいじめ防止対策委員会の設置について、改めて周知していきます。児童や保護者の不安や悩みに対して常に応じられるよう、担任だけでなく教育相談コーディネーターやスクールカウンセラー等の存在を周知し、引き続き教育相談に応じる呼びかけを行っていくと同時に児童理解を深め、一人ひとりを大切にする学校・学級づくりを目指していきます。

６ 学校は、「健康な子」を育てる指導に積極的に取り組んでいる。

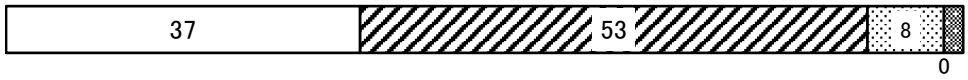
学校の取組

本校では、朝の健康観察に朝食や睡眠についての項目を設け、基本的な生活習慣の大切さを意識させるようにしています。また、保健学習や朝の検温確認、手洗い指導等、感染症対策の指導も継続的に行っています。様々な学習を通して自分の健康を守る大切さを指導しています。

児童　設問　「健康や安全に気をつけて、元気に生活できた。」



保護者　設問　「子どもは、健康や安全に気をつけて生活している。」



教職員　設問　「『健康な子』を育てる指導に積極的に取り組んでいる。」

今後に向けて

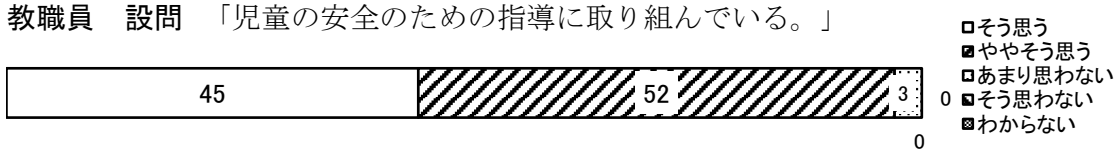
概ね健康な生活を送っていると捉えています。生活リズム大作戦や健康観察の結果からは、毎日、朝食を食べている児童が多いという結果も得られています。保健だより等を中心に「早寝、早起き、朝ごはん」の習慣がしっかりと身につくように指導するとともに、児童が自らの健康に関心をもち、めあてをもって運動する意欲を持てるような取組を計画・実践していきます。保護者から登下校の様子を心配する声がきかれたり、ゲームのやり過ぎ等で授業に集中できない様子も見られたりするので、児童の健康・安全を守るために、家庭とさらに連携していく必要があると感じています。

7 学校は、児童の安全のための指導や施設の点検・整備に取り組んでいる。

学校の取組

本校では、自分の身を守るための行動様式を身につけさせるために、火災や地震を想定した避難訓練や交通安全教室を実施しています。また不審者対応の退避訓練も行っています。教職員による施設・設備の安全点検を月初めに実施して、不具合箇所の報告があれば、速やかに修理・修繕を行って職員全体で安全確保に努めています。

教職員　設問　「児童の安全のための指導に取り組んでいる。」



教職員　設問　「児童が安全に過ごせるように施設・設備を定期的に点検している。」

今後に向けて

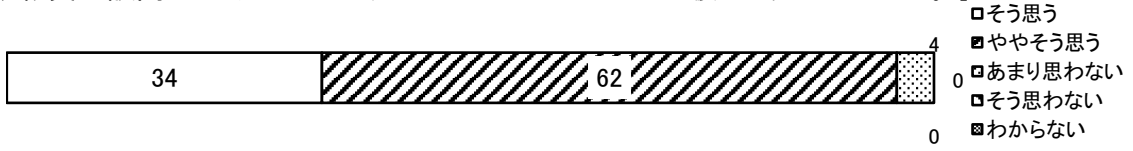
教職員の多くが児童の安全を守るための取組を行っていると回答しています。安全についての指導の後は児童の変容を見取ったり課題を見出したりしながら、児童の安全を最優先に考えていきます。交通安全教室や避難訓練ばかりではなく、道徳や学級活動の時間などにおいて学校生活のあらゆる場面をとらえて命の大切さを学ぶ機会を増やしていきます。

８ 学校は児童に応じた支援の工夫をしている。

学校の取組

本校では教育相談コーディネーター、児童支援コーディネーターが中心となり、担任や職員だけでなく、外部の相談機関とも連携して児童の困り感が少しでも軽減できるような手立てを考えるようにしています。毎週火曜日にはスクールカウンセラーによる相談を受付けています。教職員もいつでも保護者や児童が相談できる体制を取っています。学習支援者は必要に応じて別室での個別指導や、担任とのティームティーチングを行っています。

教職員　設問　「一人ひとりの児童に応じたきめ細かな支援の工夫をしている。」



今後に向けて

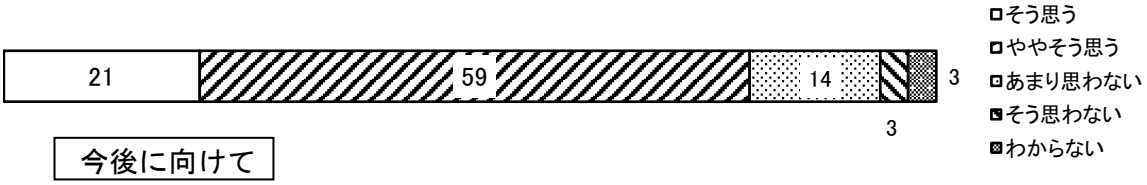
教職員が一人ひとりの児童に応じた支援の工夫を具体的に実践できていると考えます。支援教育についての理解は深まってきていると考えています。しかし一方で配慮が行届かなかったのではないかと感じている部分があることは課題です。個のニーズに対し、今後も教職員同士で情報交換を密にし、連携を図って、組織的により多くの目で見守っていきます。また、スクールカウンセラーの役割が周知されるに従って、保護者や児童のニーズも増えています。引き続きスクールカウンセラーや学習支援者と連携しながら、個に応じた支援体制の充実を考えていきます。

９ 校長を中心とした運営組織になっている。

学校の取組

本校では、職員会議やカリキュラム・マネジメント会議を通して全教職員の共通理解を図る取組を重視しつつ、校長の学校教育方針を受けて、総括教諭を中心に学校教育目標を踏まえた指導の重点の具現化や改善策をグループ会議、企画会議で検討しています。教職員一人ひとりが学校の担い手であるという自覚を持ち、各グループが連携を図りながら学校運営にあたって

教職員　設問　「校長の経営ヴィジョンを受け各グループの役割が明確であり、有効に機能している。」



今後に向けて

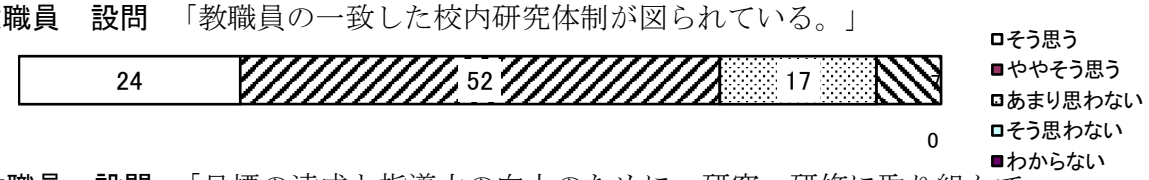
学校運営について総括教諭をリーダーとした各グループで計画・立案されたものが、企画会議、職員会議を経て実践され、ふり返りをもとに新たな課題を見出し、改善に向けて新たな計画を立てるというサイクルを徹底し、よりよい学校となるように今後も全教職員で取り組んでいきます。各グループの連携を図りながら、今後も地域や家庭に信頼される学校づくりをめざして運営を行っていきます。

10 学校は、教職員の力量を高めるための取組に力を入れている。

学校の取組

本校では、「学びを楽しむ子をめざして」をテーマに校内研究に取り組んでいます。研究授業を行い、授業後の研究協議では協議の柱を中心に話合いを行い、実践力を高めています。教科指導や児童理解などについて市の教育研究所や教育センター等の研修に参加したり外部講師を招いて研修を行ったりしています。

教職員　設問　「教職員の一致した校内研究体制が図られている。」



教職員　設問　「目標の達成と指導力の向上のために、研究・研修に取り組んでいる。」

今後に向けて

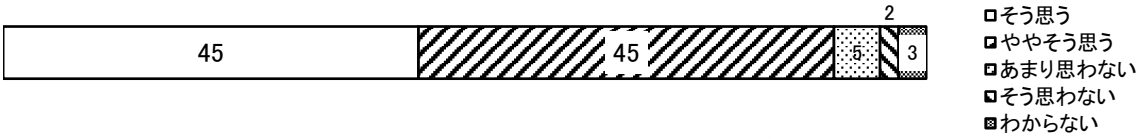
児童が主体的・能動的に発見したことや考えたことを伝え合って取り組めるような学習の場を目指します。そのための校内研究体制について教職員の意思は同調していると考えます。あらゆる教科学習において今までの研究を深化させていくために、今後も引き続き全職員が協力して指導力向上を目指し、質の高い授業を目指して改善に取り組んでいきます。

11 学校は、児童の実態を把握し、よりよい児童の成長のための工夫をしている。

学校の取組

児童の情報交換の機会を多く設けて、児童理解を図るように努めています。児童が落ち着いて学習に臨めるように、「朝読書」をはじめとする朝の活動の内容を検討したり、行事の工夫を行ったりしています。ＰＴＡとの連携を図り、また、地域の方々からの児童の実態や児童を取り巻く状況の把握に努め、指導に生かしています。また、学校運営協議会を通してよりよい教育活動を進めています。

保護者　設問　「学校は、児童のよりよい成長をめざした指導をしている。」



教職員　設問　「必要な情報を収集し、職員間で情報を共有し、よりよい児童の成長のために役立てている。」

今後に向けて

概ね肯定的な評価になっています。これからもより一層児童の実態や課題を把握し、共通理解のもと教職員一丸となって、児童が有意義な学校生活を送れるよう指導にあたっていきます。そのために、学校運営や教育活動に関わってくださる家庭や地域の方々との連携を密にするとともに、学校運営協議会を通していろいろな情報交換を行いながら、よりよい教育活動に努めていきます。

１２ 学校は、保護者などに適切な情報を提供し、連携を図る取組を行っている。

学校の取組

本校では、学校便り、学年便り、保健だよりを月１回発行し、家庭・地域へ学校の取組や児童の様子をお知らせしています。また、懇談会や家庭訪問、個別面談などを行い、本校の教育活動について理解を得られるようにしています。必要があれば家庭に連絡を取り、児童指導上

保護者　設問　「懇談会や学校・学年便り等で、学校の様子を知ることができている。」

教職員　設問　「懇談・訪問・相談・便り・電話連絡等で家庭とのきめ細かな連携を図っている。」

今後に向けて

学校の取組に対して保護者の肯定的な評価が多くみられました。学校と家庭・地域が連携してこそ、教育の効果は高まると考えています。保護者や地域の方々に学校の教育活動について理解が得られるように、行事の取組やその際の児童の様子などについて情報発信するだけでなく、日常の学校の様子を伝えられる方法を検討します。